

# 図書館の窓

## ようこそ東京大学へ

東京大学附属図書館 利用ガイド2023

電子リソース・文献管理ツールを活用しよう

東京大学附属図書館の  
ダイバーシティ&インクルージョン

特別展示『テエベス百門の断面図

— 歿後100年記念 森鷗外旧蔵書展』を開催

2023.4

Vol.61 No.1





初めて利用する方へ

# 東京大学附属図書館 利用ガイド2023

ようこそ  
東京大学へ!



東京大学には、本郷キャンパスの総合図書館、駒場キャンパスの駒場図書館、柏キャンパスの柏図書館という3つの拠点図書館があり、加えて学部・研究科や研究所等にそれぞれ設置されている27の部局図書館・室があります。これら30の図書館・室が一体となってサービスを提供しているのが「東京大学附属図書館」です。



ご活用ください!

## ★ホームライブラリ

他の図書館から取り寄せた資料の受け取りなど、各種図書館サービスの窓口となる図書館・室のことです。

原則として、ご自身の所属する学部・研究科にある図書館・室がホームライブラリになります。

図書館利用で困った時は、お気軽にホームライブラリへお問い合わせください。

\*所属と実際の研究拠点が異なる場合は、研究拠点の最寄りの図書館・室にご相談ください。

## ★UTokyo WiFi

東京大学の構成員がキャンパス内で利用できる学内共通無線LANサービスです。

利用にはUTokyo WiFiアカウントの取得が必要です。詳細はWebサイトをご確認ください。



UTokyo WiFi [https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utokyo\\_wifi/](https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utokyo_wifi/)

東京大学の各図書館・室では、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を行っています。

ご来館の際にはマスクの着用や手指の消毒など、各図書館・室で定められている感染拡大防止対策へのご協力をお願いします。

## 各キャンパスの拠点図書館紹介

### 駒場キャンパス

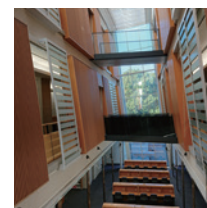
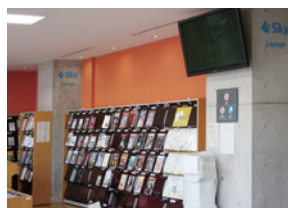
## 駒場図書館

※大学院総合文化研究科図書館を兼ねる

駒場図書館は、前期課程1年生が入学して一番最初に利用する図書館として、幅広い分野の図書と学習環境を用意しています。

館内ではUTokyo WiFiが利用できます。1階のメディアパークでは、東京大学教育用計算機システムの端末(ECCS端末)が利用できます。

勉強から離れて気軽に読める雑誌を集めた1階Sky Loungeや、吹き抜けになって開放感のある2階閲覧席など、目的に合わせてお気に入りの場所を見つけてみてください。



駒場図書館をもっと便利に使うために、

駒場図書館Webサイトに掲載の「図書館活用ガイド」をぜひご覧ください!

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/komaba/user-guide/campus/guide>

図書館活用ガイド



駒場図書館キャラクターこまどちゃん



## 本郷キャンパス

# 総合図書館

総合図書館は、蔵書約130万冊、閲覧席1,111席を誇る学内最大規模の図書館です。UTokyo WiFiはもちろん、ECCS端末(全68席)も利用できます。

本館2階の防音ブース(個室)\*や別館ライブラリープラザでは、発声をともなうオンライン授業の受講や語学学習などができます。その他に、グループディスカッションができるスペースもあります(プロジェクトボックス\*)。学習や研究のスタイル、キャンパスでの過ごし方に合わせてご利用ください。

\*防音ブース、プロジェクトボックスを利用するためには、事前にMyOPACから予約してください。



利用できるサービスの最新情報は総合図書館Webサイトでご確認ください。

■総合図書館Webサイト

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general>



## 柏キャンパス

# 柏図書館

柏キャンパスの正門から、左手に見えるガラス張りの建物が、柏図書館です。1階にはセミナー室やホールといった会議施設やゆったりとくつろげる休憩スペースがあり、2階には学習図書や研究資料をそろえた図書館施設があります。自然科学系雑誌のバックナンバー40万冊以上を収納する自動書庫が利用できるのも特徴です。

館内ではUTokyo WiFiやECCS端末が利用できます。グループワークやオンライン授業中の声出しが可能なスペースもあります。

また、4月・10月には柏図書館の使い方をクイズ形式で知るセルフツアーを開催しています。サイエンスカフェやミニコンサートなどのイベントも随時行っています。自習の場に、授業や研究の息抜きの場に、ぜひご利用ください。



最新の開館情報や各種お知らせは柏図書館Webサイトをご確認ください。

■柏図書館Webサイト

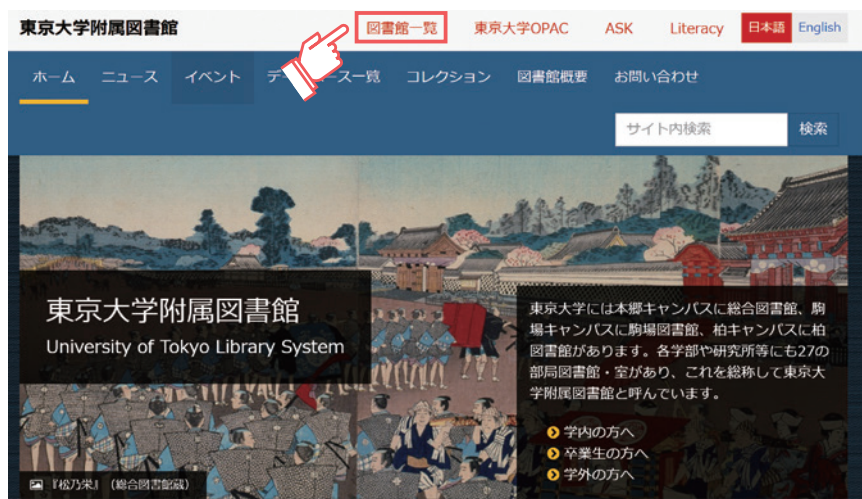
<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/kashiwa>





## 図書館・室を利用しよう

### ◆開館時間・休館日 — Webサイトで最新の情報を確認しよう



図書館ごとに開館時間・休館日が異なります。図書館・室へ行く前に、必ずその図書館のWebサイトをチェックするようにしましょう。また各図書館・室では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大学全体または学部・研究科の方針に合わせて開館時間に変更される場合があります。ご利用の際には最新情報のご確認をお願いいたします。

■新型コロナウイルス感染症対応に伴う各図書館のサービス変更等について

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/news/20200228>



### ◆図書館・室ご利用手続き

- 学生 UTASでメールアドレスを登録する
- 教職員 ホームライブラリで所定の手続きをする

学生証・職員証がそのまま利用証になります！



### ◆貸出のルール

#### ◎駒場図書館・総合図書館・柏図書館

基本的に、図書は1つの図書館につき10冊まで2週間借りられます。ただし、資料の種類やご自身の身分によっては、何をどのくらいの期間借りられるのかが異なることがあります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

#### ◎他の図書館・室

他の図書館・室では、それぞれ条件が異なります。詳細はWebサイトを確認してください。

※貸出できない資料もあります。その場合は館内で利用しましょう。

■東京大学附属図書館一覧

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/guide>



### ◆返却のルール

●学内図書館・室で借りた資料であれば、すべての学内図書館・室で返却することができます。

※ただし、貸出時に指定された場合は、指示された図書館・室へ返却してください。

⚠ 延滞をすると、貸出停止になる場合があります。返却期限を守りましょう。

### ◆わからないことがあったら — ASKサービスで質問しよう

ASKサービスは、図書や文献、情報の検索に関する質問・相談サービスです。回答はメールでお送りします。

■東京大学附属図書館ASKサービス

<https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/opac/ask/>



## 資料をさがすには — 東京大学OPACを使おう

東京大学附属図書館で所蔵している資料は、「東京大学OPAC」で検索することができます。読みたい本や雑誌をOPACで検索し、所蔵している図書館・室を訪れて資料を利用してみましょう。

### 東京大学 OPAC



## 「MyOPAC」でもっと便利に

UTokyo Accountでログインすると色々なサービスを利用できます。

### ①貸出・予約状況照会 — 貸出期間の延長も!

「貸出・予約状況照会」ページで状況の確認や貸出期間の延長ができます。

※次の予約が入っている場合、延滞している場合、所定の延長回数を超える場合は延長できません。



### ②資料の予約・取り寄せ

#### 図書

貸出中の図書を予約することができます。また、他の図書館・室の図書をホームライブラリ、またはキャンパス拠点図書館（総合・駒場・柏）に取り寄せることもできます。取り寄せは無料です。

#### コピー PDF

図書や雑誌の必要な部分のコピー・PDF\*の取り寄せを申し込むこともできます。有料のため、事前にホームライブラリで手続きが必要です。

※ PDFの取り寄せは学内の一部図書館・室のみ対応

配架場所	巻次	請求記号	登録番号	状態	文庫区分	開年	コメント
総合図・3F閲覧		809.7:A53	0012203451				
工1A・社務室		PF:a04	1011217922				学生用図書
工2・図書室		809.7:Si8	1011461371			2007.5	
工2・電子情報		081:195:T	2310027905	研究室			
学芸・図		T-a:159	6611651784				

### ③購入リクエストをしてみる



学習や研究に使いたい本が図書館にない時は、キャンパス拠点図書館、またはホームライブラリにリクエストできます。「図書購入リクエスト」からお申込みください。

※図書館・室ごとに資料購入の方針があり、方針や予算等の都合で購入できない場合があります。

MyOPACを使い終わったら必ずログアウト!

# 電子リソース・文献管理ツールを活用しよう

図書館で提供しているのは紙の資料だけではありません。東京大学所属者の方は電子リソース(電子ジャーナル・電子ブック・データベースなど)や文献管理ツールを利用することができます。これらは自宅からでも使うことができます。



**電子リソースとは?** インターネット上で読んだり使ったりできる学術資料のこと。

## ■電子ジャーナル

インターネット上で読むことのできる学術雑誌のこと。E(イー)ジャーナル・オンラインジャーナルなどと呼ぶこともあります。発行後すぐに読めるのが特徴で、発行前のpreprintが読める場合もあります。

例えば… 『Nature』『National geographic』などの雑誌の電子版

## ■電子ブック

インターネット上で読むことのできる図書のこと。E(イー)ブック・電子書籍などと呼ぶこともあります。大学図書館で利用できる電子ブックの多くが学術図書です。音声や動画が掲載されていたり、本文を検索できたり、といった特徴があります。

例えば… 『理系総合のための生命科学』『東京大学のアクティブラーニング』などの図書の電子版



電子ジャーナル・電子ブックは、東京大学OPACまたはE-journal & E-book Portal(データベース一覧から利用)から検索できます。

## ■データベース

大量のデータを集めて整理し、必要な情報を検索できるようにしたもの。データベースはそれぞれ検索できる対象が異なっているため、目的に応じて使い分けるようにしましょう。

例えば… 目的

データベース名

日本語論文を探したい

➔ CiNii Research

英語論文を探したい

➔ Web of Science コアコレクション

見出しや本文から、新聞記事を探して読みたい

➔ 朝日新聞クロスサーチ

さまざまな辞書・事典をまとめて検索し、調べた内容を読み比べたい

➔ JapanKnowledge Lib

明治から今日までの日本の判例を探して読みたい

➔ LEX/DBインターネット

国内発行の医学・歯学・薬学・看護学および関連分野の論文を探したい

➔ 医中誌 Web

主に化学・薬学分野の論文・特許や、化学物質および有機化学反応情報などを探したい

➔ CAS SciFinder-n

東京大学で使える論文や図書をまとめて検索したい

➔ TREE

※ここにあげたデータベースは一例で、同じ目的に使える異なるデータベースや、その他の目的に使えるデータベースもたくさんあります。探し方はP.6を参考にしてください。

どのデータベースを使えば  
いいか悩んだときにオススメです



## ⚠ 電子リソース利用上の注意

電子リソースによっては、同時に利用できる人数に制限があります。利用が終了したら、必ずログアウトをしてください。電子リソースを東京大学以外の人に利用させることや、大量ダウンロードなどの不正利用は厳禁です。不正利用が疑われると、東京大学全体で電子リソースの利用が停止され、多くの人の学習・研究に支障をきたしますのでご注意ください。

### ■電子リソース利用上の注意

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/literacy/user-guide/campus/caution>

このページでは、不正利用の具体例や、利用上の注意点を詳しく説明しています。電子リソースを利用する前に必ずご一読ください。



適正な利用を  
お願いします!

## ◎電子リソースを使ってみよう!

附属図書館データベース一覧のページから、東京大学で利用できる400以上のデータベースを探ることができます。5ページで紹介している電子リソースは全てここから検索して利用できます。

「検索キーワード」の項目はデータベース名その他、データベースの説明文も検索対象になっているので、調べたい内容や研究テーマを入力すると、思いがけないデータベースが見つかるかもしれません。

### TREE (UTokyo RResource Explorer)

Off-Campus Open

#### 利用してみる

データベース名の下にある「利用する」ボタンから



#### ■附属図書館データベース一覧

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/database>

## ◎学外から電子リソースを使うには?

「EZproxy (イージープロキシ)」というサービスにログインすることで学外からでも学内からと同じように電子リソースが利用できます。EZproxyにログインするためにはUTokyo Accountが必要です。

電子リソースの中には、キャンパス内からのみの利用に限定されたり、学外アクセスが東京大学所属者の一部の方のみに限定して認められているものもあります。

#### ■EZproxy (イージープロキシ) 経由で利用する

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/literacy/user-guide/campus/offcampus/ezproxy>



## 文献管理ツールも使ってみよう!

さまざまな情報源から集めた文献情報を、1か所でまとめて管理できるツールです。集めた文献情報を利用して、レポートや論文に必要な参考文献リストを簡単に作ることもできます。

例えば… 新RefWorks、Mendeley、EndNote online ↓こちらのページから使えます。

#### ■東京大学で利用可能な文献管理ツール

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/literacy/user-guide/campus/ref>



学生の皆さんはこれから多くの課題に取り組み、レポートをたくさん書くことになります。レポートや論文を書く際は、参考にした文献について、文末にリスト化して示す必要があります。

文献管理ツールは、毎回のレポートに添える参考文献リストの作成を省力化してくれる便利なツールです。電子リソースからあらかじめ取り込んでおくことで、必要なときにいつでも取り込んだ文献情報を呼び出して参考文献リストを作成できます。ぜひ活用してみてください。

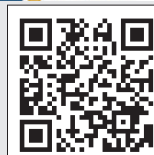
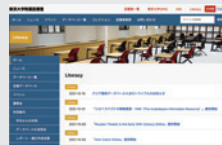
「電子リソースや文献管理ツール、便利そうだけど、使い方がよくわからない…!」  
そんな方は、講習会に参加しましょう!定期的に講習会を開催しています。

### Literacy

東京大学附属図書館Webサイト内にある「Literacy」は、東京大学で利用できる学術情報を、探せて、使えて、学べるサイトです。今号で紹介している電子リソースやWebサイトは全て「Literacy」からアクセスできます。データベースの活用法やレポート・論文の書き方に関する情報も掲載しています。

#### ■Literacy

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/literacy>



### 講習会実施中!

論文の探し方、専門分野ごとのデータベースの利用方法や活用のコツを知ることができる講習会を、主にオンラインで開催しています。お気軽にご参加ください。申込みはイベントページから行えます。今後のスケジュールは講習会ページのカレンダーを参照ください。





UTokyo  
Diversity&Inclusion

# 東京大学附属図書館の ダイバーシティ&インクルージョン

2022年6月、東京大学では「東京大学 ダイバーシティ&インクルージョン宣言」を制定しました。東京大学の図書館・室でのD&Iに関する取り組みをご紹介します。

## 読むこと・聴くこと・歩くことが困難な方へ

### ◆資料電子化サービス

学内図書館所蔵資料や、学習・教育・研究等に必要なものであれば、利用者自身で持ちこんだ資料を、PDF化およびテキスト化できるサービスです。バリアフリー支援室の協力のもと行っています。

ホームライブラリを通じてお申込みください。

#### ■東京大学附属図書館Webサイト

[https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/digitizing\\_service\\_for\\_disabilities.html](https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/digitizing_service_for_disabilities.html)



### ◆視覚障害者等用データの取り寄せ

国立国会図書館が作製または収集した視覚障害者等用データ（音声DAISYデータ、点字データ等）を総合図書館・駒場図書館経由で取り寄せることができます。

#### ■総合図書館Webサイト(QR①)

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general/user-guide/shogaisha-service/ndl-data>

#### ■駒場図書館Webサイト(QR②)

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/komaba/user-guide/support/ndl-data>



QR①



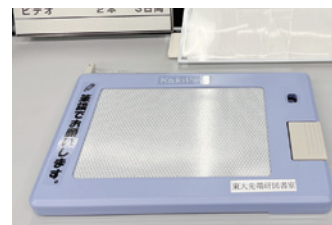
QR②

### ◆拡大読書器や簡易筆談器の設置

拡大読書器を設置している図書館・室もあります。また各図書館・室のカウンターでは筆談に対応しています。読むことや聴くことが困難な方も安心して図書館施設をご利用いただけます。ぜひご活用ください。



拡大読書器  
(教育学部図書室)



簡易筆談器  
(先端科学技術研究センター図書室)

### ◆オンライン図書館

#### AccessReading (アクセスリーディング)



音声教材を利用できるオンライン図書館です。読むことに困難があり、特別支援を必要とする児童生徒のため、東京大学先端科学技術研究センター社会包摂システム分野と同センター図書室が共同で運営しています。事前の登録申請が必要です。

#### ■AccessReading

<https://accessreading.org/>



### ◆バリアフリー環境の整備

東京大学の図書館・室では、障害のある方でもスムーズに図書館を利用できるバリアフリーな環境整備を心がけています。例えば、明治新聞雑誌文庫では、2021年の耐震改修工事に伴い、スロープや“誰でもトイレ”の設置に加え、安全に昇降できるように階段の手すりやステップをリニューアルしました。



地階にある入口へと向かうスロープと階段(手すり)  
(法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター明治新聞雑誌文庫)



## お子さまをお連れの方へ

東京大学所属者は、未就学のお子さまを連れて総合図書館・駒場図書館・柏図書館をご利用いただけます。詳しくは各館のWebサイトをご覧ください。

### ■総合図書館「サポートが必要な方へ」(QR①)

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general/user-guide/support>

### ■駒場図書館「サポートが必要な方へ」(QR②)

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/komaba/user-guide/support>

### ■柏図書館「サポートが必要な方へ」(QR③)

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/kashiwa/user-guide/support>



QR①



QR②



QR③

## 利用支援全般について

総合図書館・駒場図書館・柏図書館では、利用できるサービスを広く知ってもらうために、ポスターを作成して館内掲示、Webサイトへの掲載を行っています。



「すべての学生・教職員が快適に利用できる総合図書館へ」ポスター

## 多言語で利用支援

### ◆利用案内

日本語によるご案内のみならず、英語表記の掲示物・Webサイト・案内ガイド等によるご利用案内を行っています。



英語表記の掲示物の例 (農学生命科学図書館)

### ◆講習会

一部講習会を英語・中国語・韓国語で実施し、テキストやリーフレットも同様に作成・提供しています。(講習会については今号の6ページもご覧ください)

#### ■講習会テキスト

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/literacy/training/text>



### ◆バーチャルツアー

来館をせずに図書館内を見ることのできるバーチャルツアーを提供しており、英語版も公開しています。

#### ■駒場図書館 (QR①)

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/en/library/komaba/user-guide/campus/guide#VirtualTour>

#### ■農学生命科学図書館 (QR②)

[https://www.lib.a.u-tokyo.ac.jp/lib/navi.html#english\\_ver](https://www.lib.a.u-tokyo.ac.jp/lib/navi.html#english_ver)



◀ 駒場図書館バーチャルツアー



QR①



QR②

## GENKI BOOKSで知る・気付く・わかる

“GENKI BOOKS”の“GENKI”は、“Gender Equality:No-nonsense Knowledge and Information”の頭文字です。駒場図書館には2010年から、工学・情報理工学図書館には2016年から、設置されています。

#### ■GENKI BOOKS

<https://library.t.u-tokyo.ac.jp/genki.php>



### ◆駒場図書館

- 駒場図書館入口のゲートのすぐ左手に、柱に沿ってジェンダー関係の本約1,000冊が並んでいて、館外貸出もできます。
- OPAC詳細検索の「文庫区分」でプルダウンメニューの中から「GENKI BOOKS (駒)」を選ぶと一覧を見ることができます。



### ◆工学・情報理工学図書館

- 男女共同参画関連図書のコーナーを工2号館図書室に設けています。
- 国立女性教育会館(NWEC)の図書もテーマを変えながら期間限定で展示・貸出をしています。

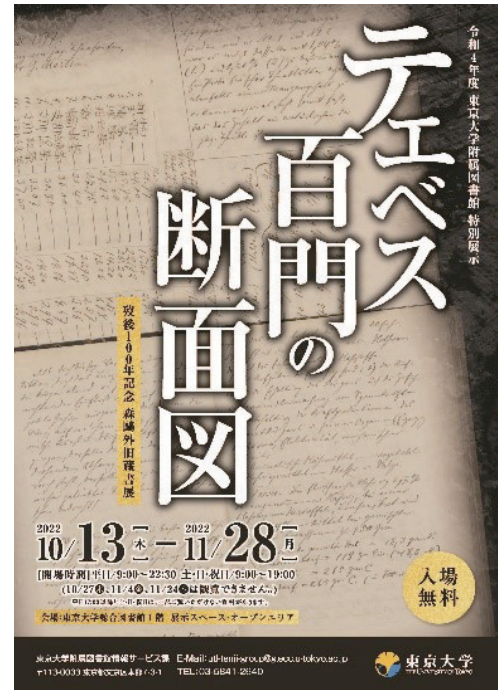


# テエベス百門の断面図 — 歿後100年記念 森鷗外旧蔵書展

## を開催しました。

昨年、令和4(2022)年は大正11(1922)年に森鷗外が没して100年となる節目の年でした。これを記念して、附属図書館では、特別展示会「テエベス百門の断面図—歿後100年記念 森鷗外旧蔵書展」を開催し、総合図書館が所蔵する「鷗外文庫」の資料を展示しました(会期:10月13日(木)~11月28日(月)会場:総合図書館1階 展示スペース・オープンエリア)。耐震改修工事の影響もあり、総合図書館で特別展示が開かれるのは実に8年ぶりのこととなりました。

「鷗外文庫」は関東大震災後に遺族から寄贈された、和・漢・洋の幅広い分野に亘る鷗外の旧蔵書、約19,000冊のコレクションです。本展では、執筆から約120年もの間、鷗外文庫の洋雑誌に挟まって眠っていた新発見の草稿を眼目として、「医学生鷗外」「職務に向きあう」「知識への渴望」「人脈のなかで」「作品への通路」の5つのコーナーを用意し、鷗外が読書中に書入れをした蔵書や自筆本などを中心に、今回初めて出展される資料も含め、約100点を紹介しました。本展のタイトルは、本学医学部教授でもあった詩人の木下杢太郎が鷗外を「テエベス百門の大都」と呼んだことにちなみますが、その言葉のとおり、軍医・官僚・作家・詩人・翻訳家など、実に多様な顔を持っていた鷗外の知と教養の多面性を描き出す展示となり、学内外から約1,200人の方にご来場いただきました。



10月28日(金)には、本展を指揮された総合文化研究科・出口智之准教授を講師にお迎えして記念講演会を対面・オンライン併用で開催しました。学内外から265名の参加があり、大好評を博しました。

さらに今回、会場での展示とあわせ、国立国会図書館が運用するジャパンサーチの「ギャラリー」を活用して、電子展示を構築、公開しました。会期終了後も展示資料を楽しむことができますので、ぜひご覧ください。また本展示では、報道関係者向け内覧会の実施、文京区立森鷗外記念館との展示資料紹介による連携、本学コミュニケーションセンターとの連携による展示記念グッズ(そえぶみ箋)の作成、アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門(U-PARL)・永井正勝特任准教授が撮影されたテエベス(現在のルクソール)の写真と解説による関連展示「木下杢太郎の見たテエベス」の開催など、様々な新しい試みにチャレンジした展示となりました。



### ■展示会Webサイト(QR①)

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/html/tenjikai/tenjikai2022/index.html>

### ■電子展示(QR②)

<https://jpsearch.go.jp/gallery/utokyo-ogai2022>



QR①



QR②

本誌中のサービス提供状況は2023年3月時点のものです。状況によりサービスが変更となる場合があります。最新の情報は各図書館・室のWebサイトをご覧ください。

図書館の窓 Vol. 61 No.1(通号461号) 2023年3月31日発行  
発行人: 木下聡 編集: 附属図書館広報委員会  
東京大学附属図書館発行  
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 電話03(5841)2612 E-mail kikaku@lib.u-tokyo.ac.jp  
東京大学附属図書館Webサイト <https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>



図書館の窓 バックナンバー